

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的に、基礎的・基本的な知識・技能の定着に課題が見られる。また、その中でも個人差が大きいことから個別に必要な支援を講じていく必要がある。「スタディサプリ」等、個別に蓄積されたデータを効果的に活かす方法を検討していきたい。また次年度に向けた改善策としては、国語の「読むこと」の領域に、学校全体として課題が見られることから、研修を通し、全学年で重点的に取り組んでいきたい。
思考・判断・表現	算数の「数と計算」「図形」の領域に各学年課題が見られたため、「なぜ？どうしてそうなった？どこからそう考えた？」などを意図的に問い、根拠を明確にする活動を多く取り入れていき、プログラミング的思考力や論理的思考力を高めていきたい。
主体的に学習に取り組む態度	生活習慣に関する調査の「主体的対話的で深い学び」の分類の質問では、多くの質問でさいたま市の平均を下回っている。引き続き一人1台端末を活用した児童主体の「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を行ったり、学びのポイント「じ・し・や・く」を意識した授業を行ったりしていく。また、ICTを活用した振り返りの実施や記録の蓄積を図り、主体的に取り組む態度を育てていきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において1pt向上させる。	⇒ 書き込み式ドリルやドリルパーク、スタディサプリを活用し、一人ひとりの課題に合った内容に繰り返し取り組む。一人1台端末を活用した児童主体の「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を行う。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において1pt向上させる。	⇒ 一人1台端末を活用し、思考を可視化し、互いに考えを伝え合うことで、比較・検討する協同的な学びの場を設定する。特にミラシードを活用し、児童の作品・レポートを相互評価したり、考えを共有したりすることによって、思考力・判断力・表現力を高めていく。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査【学びに向かう力等】における「国語の学習は好きですか。」「算数の学習は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和4年度より1pt以上向上させる。	⇒ 魅力ある授業を行うことによって、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。魅力ある導入をし、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。また、授業中に必ず振り返りの時間を設定する。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度の全国学力・学習状況調査「知識・技能」において、R4年度全国学力・学習状況調査より平均正答率が国語+4.1p、算数+3.3pであった。	A
思考・判断・表現	R5年度の全国学力・学習状況調査「思考・判断・表現」において、R4年度全国学力・学習状況調査より平均正答率が国語+5.1p、算数+1.7pであった。	A
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査【学びに向かう力等】における「国語の学習は好きですか。」「算数の学習は好きですか。」の肯定的な回答の割合は、令和4年度を上回る結果であり、目標を達成することができた。 ・国語62.9→68.5 +5.6 ・算数59.8→63.7 +3.9	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+5pt、算数+3ptであった。昨年度まで取り組んでいた、読解力向上の研修に一定の効果が見られた。昨年度より数値はよくなっているが、国語では「言葉の特徴や使い方に関する事項」、算数では「数と計算」に課題が見られた。
思考・判断・表現	算数の「図形」領域において課題が見られた。底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数値を用いて記述する問題の正答率が低いことから、問題の意味を正しく理解し、説明する力が不足していることが考えられる。「なぜそうなるのか？」考えたり説明したりする活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目では、全国より肯定的な回答の割合が10pt以上であった。より一層、子ども主体の学びとなるように努めていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査において、国語算数ともにさいたま市の平均を下回った結果であった。特に国語では、「我が国の言語文化に関する事項」の領域、算数では、図形の領域に大きな課題があった。「算数の授業の内容はよく分かりますか。」の質問に関しても、肯定的な回答は市の平均を下回った。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査において、国語算数ともにさいたま市の平均を下回った結果であった。国語では、読むことの領域、算数では、数と計算の領域に大きな課題があった。「〇〇の授業の内容はよく分かりますか。」の質問は、国語算数ともに肯定的な回答は市の平均を上回っている。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査において、全教科さいたま市の平均を下回った結果であった。国語では、話すこと・聞くことの領域、算数では、データの活用に大きな課題があった。「〇〇の授業の内容はよく分かりますか。」の質問に関しても肯定的な回答は市の平均を下回った。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査において、全教科さいたま市の平均を下回った結果であった。領域別に見ると、理科の「エネルギー」を柱とする領域に関しては、市の平均を上回った。しかしその他の領域では課題が見られる。「理科の授業の内容はよく分かりますか。」の質問に関しては、肯定的な回答が市の平均を上回っている。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし